

山口県感染症発生週報

(第1週:平成26年12月29日～27年1月4日)

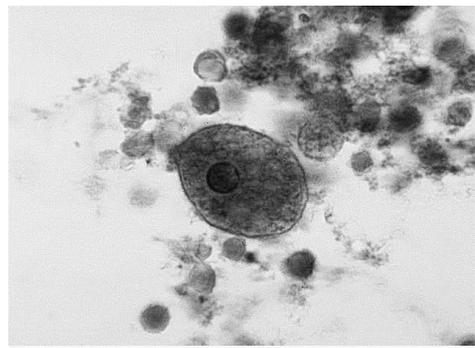
1 全数把握感染症

【2類感染症】

・結核: 1例(周南)。

【5類感染症】

・アメーバ赤痢: 1例(宇部)。



赤痢アメーバ CDC/Dr. George Healy

2 定点把握感染症(5類感染症)

(1)特記事項

・インフルエンザ: 県全体で報告数が増えているため、本日(1/8)、注意報を発令しました。周南、下関で注意報レベルとなり、山口で注意報レベルが続いています。迅速検査結果は、A型762例、B型1例、A・B共に陽性2例で、60例は臨床診断・型別不明でした。今シーズンの病原体検査では今のところ(平成26年9月～12月)、全てA/H3(香港型)が検出されています。[注意報レベル:周南(1週目)、山口(2週目)、下関(1週目)]*

・RSウイルス感染症: 防府で増加し多い状態です。

・感染性胃腸炎: 周南で警報レベルが続いています。[警報レベル:周南(5週目)]*

・水痘: 長門、山口で増加し注意報レベルとなりました。[注意報レベル:長門(1週目)、山口(1週目)]*

※警報レベル・注意報レベルの基準値詳細についてはHPをご覧ください。
<http://kanpokken.pref.yamaguchi.lg.jp/jyoho/report2012/keihotyuuhiho.php>

(2)週別発生状況

疾患名	51週	52週	1週	疾患名	51週	52週	1週
インフルエンザ	135	451	825	百日咳	0	0	0
RSウイルス感染症	121	101	68	ヘルパンギーナ	2	1	2
咽頭結膜熱	25	15	7	流行性耳下腺炎	4	2	3
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	164	131	40	急性出血性結膜炎	0	0	0
感染性胃腸炎	918	801	338	流行性角結膜炎	3	1	0
水痘	63	82	64	クラミジア肺炎	0	0	0
手足口病	45	42	8	細菌性髄膜炎	0	0	0
伝染性紅斑	1	0	0	マイコプラズマ肺炎	1	1	1
突発性発しん	31	32	13	無菌性髄膜炎	0	0	0
				感染性胃腸炎(ロタウイルス)	1	0	0

(3)地域別発生状況

疾患名	下関	岩国	柳井	周南	防府	山口	宇部	長門	萩	全体
インフルエンザ	241	48	47	241	21	157	40	22	8	825
RSウイルス感染症	19	1	1	21	12	3	8	0	3	68
咽頭結膜熱	1	0	0	2	2	1	0	0	1	7
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	6	0	0	15	3	6	6	1	3	40
感染性胃腸炎	26	9	0	210	9	37	24	20	3	338
水痘	6	3	0	21	1	21	3	9	0	64
手足口病	3	0	0	3	2	0	0	0	0	8
伝染性紅斑	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
突発性発しん	2	0	1	4	1	4	1	0	0	13
百日咳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ヘルパンギーナ	1	0	0	1	0	0	0	0	0	2
流行性耳下腺炎	0	0	0	3	0	0	0	0	0	3
急性出血性結膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
流行性角結膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
クラミジア肺炎	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
細菌性髄膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
マイコプラズマ肺炎	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1
無菌性髄膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0